

令和6年度 経営発達支援事業評価報告

経営発達支援事業

令和2年3月認定を受けた経営発達支援計画（2期目）を実行し5年計画の5期目が終了しました。事業振り返り、新たに3期目（令和7年4月から令和12年3月）の経営発達支援計画の申請を令和6年12月5日に申請し、中小企業庁から令和7年3月21日に無事に認定されました。

引き続き、事業計画策定、フォローアップ、新たな需要の開拓に寄与する事業の実施、支援ツールの活用により、事業者の伴走支援を実施します。

（1）地域の経済動向調査に関すること

経営発達支援事業を行う上での基礎情報収集と蓄積を中心に行い、数値目標に関しては下振れしているが、小規模事業者へのヒアリングで経営課題や支援ニーズなどの整理ができ、事業方向性を見つけ出す資料となり一定の成果があったと考えます。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
地域内景況感把握収集数	240	224	収集した情報の提供	4	4
経済動向・課題の整理分析会議	4	4			

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	門馬委員→景況観はどうなっていますか？（飲食・サービス業は芳しくない。建設業は、元請が確保しているケースが多く順調か。業種問わず廃業が多いが、創業の相談も増加してる。）

（2）経営状況の分析に関すること

記帳機械化事業者による財務分析、事業計画を作成した事業者や金融支援を実施した事業者に、過去の財務状況による経営分析を実施し、おおむね計画とおり実行出来ました。今後は、事業主から対話と傾聴を通じ財務資料の提供を円滑に実施し、自社の見える化が図れるようにいたします。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
経営分析・財務分析	120	116	経営分析セミナー開催	1	0

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	中川委員→セミナーの開催は実施していないが、個別対応で経営分析を対応していると判断していいですか→そのように対応しています。

（3）事業計画策定支援に関すること

セミナー等の開催は、職員減少や基礎的支援業務の対応等で減となりましたが、伴走型小規模事業者支援事業による販路開拓事業や持続化補助金など事業計画作成し一定の成果を得る事が出来ました。後継者塾においては、「Chat GPT の使い方」（24名参加）「google マップ活用セミナー」（26名参加）を開催し、DX活用支援を促進しました。

創業スクールにおいては、定員15名のところ14名で実施し、参加者から大変参考になったと好評でした。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
創業塾開催数	2	1	後継者塾開催数	1	2
（受講者数）	30	14	（受講者数）	30	50
事業計画策定事業者数	60	16	創業計画策定支援者	5	4

事業計画策定セミナー (受講者数)	1 10	0 0			
----------------------	---------	--------	--	--	--

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
B	中川委員→後継者塾による IT に関するセミナーは大変いい事なので、継続して実施してもらいたい。創業塾の計画が2回となっているが、実施は可能なのか？→現在の職員数で、基礎的支援業務の増加に伴い1回開催が限界である。

(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業計画作成者に対し、計画実行に必要な資金調達など継続的なフォローアップを行いました。職員の減少や基礎的支援業務の増加により目標達成には至りませんでした。今後業務見直しなど図り改善するよう心がけます。また、創業間もない事業者への金融相談をはじめ経営基盤安定化に向け、経理税務や労務支援を行いおおむね計画とおり実行することが出来ました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
事業計画策定者フォローアップ	60	16	創業計画策定者フォローアップ	5	4
事業計画フォローアップ頻度	240	38	創業計画策定者フォローアップ頻度	20	17

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
C	門馬委員→事業計画書はどのような形式で使用しているのか？→自社分析シート、事業計画書は、全職員統一したもので対応している。企業概況、SWOT 分析、戦略、3 年資金計画まで。 中川委員→事業計画書の作成件数を増加させる対策はありますか？→マル経資金などの金融支援における相談の際、事業計画書を作成したものとしてカウントするなど検討していきたい。

(5) 需要動向調査に関すること

経営状況の把握や経営分析を実施する際、外部要因を把握することにより、地域内の需要動向を把握に努めました。また、事業計画書作成や金融支援の際、業種別審査辞典やインターネットを活用した需要動向の情報提供を行う他、にぎわい市場さっぽろ 2024 に参加した2事業者にアンケート調査を実施し、商品のブラッシュアップを図りました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
需要動向の整理・分析会議	4	4	外部データの活用	60	23
物産展時のアンケート調査 実施事業所数	2	2			

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
B	中川委員→外部データ活用に関して、中小機構のツールなどあるので、事業所に周知して目標を達成していただきたい。

(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

中小企業診断士等の専門家と連携した販路拡大支援や「小規模事業者持続化補助金」の採択を受けた事業者の販路開拓支援を実施、紙面広告（ライナー広告）や映像プロモーションビデオ作成支援事

業を実施。新規顧客獲得や売上増など一定の成果があったことに加え、提供した需要動向を基に新たな事業展開をする事業者の輩出もできました。

にぎわい市場さっぽろ 2024 (11月22日～24日)に参加した2事業者に対し販路開拓支援を実施しました。職員も同行したことで、商品のPRや消費者の反応などを肌で感じることが出来、今後の経営支援に活かせる経験となりました。

インターネットを活用した販路拡大セミナーは、HADAKADENKYU 星野智哉氏(会員)を講師に迎え「ショート動画のノウハウを学ぶ販路開拓セミナー」を開催し、10名の方が参加して頂き、今後の販路開拓向上に寄与することができました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
ビジネス EXPO 出店事業者	3	0	北の味覚マルシェ札幌出店事業者	2	2
地場産フェア出店事業者	5	0	地域フリーペーパー広告事業者	30	10
映像プロモーションビデオ事業者	20	5	グーペ登録件数	425	152
日本セレクト出展企業数	2	0	インターネットを活用した販路開拓セミナー	1	1

委員会評価	評価委員コメント(評価・見直し等)
B	中川委員→動画を活用した販促が、事業所間で浸透しているので、ショート動画への推進はしていただきたい。グーペの登録件数が減少した要因はなんですか？→2年前から事業者自身が、メールアドレスを登録して管理する形態に変更となり継続しない事業者が増加したため。今後新規会員に周知し、登録件数を増加させていきたい。

(7) 地域経済の活性化に関すること

旭川市内の地域情報を収集できる協議会に参画する事、若手リーダーの発掘と支援育成により地域活性化を図っていく事となっております。

若手リーダー資質向上を図る為の各種セミナーの参加(SNS活用促進研修会・ビジネス支援経営講習会・青年部員経営研修会など)に出席、また青年部員の加入推進を図る異業種交流会を実施し部員強化につながる活動を行いました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
地域経済活性化に資する協議会に参画	8	5	観光需要を取り組むためのセミナー	1	0

委員会評価	評価委員コメント(評価・見直し等)
B	中川委員→青年部の事業所訪問などの実施予定はないのか？事業所間の商売の繋がりが出てくるのでは？→今年度部員間における事業所訪問を検討中です。フォローアップしていきます。

(8) 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

新型コロナウイルスの影響も緩和され、指導員各々が日本政策金融公庫、旭川産業創造プラザと補助

金、施策等の情報交換を実施し円滑な事業運営を推進した。

2.経営指導員等の資質向上等に関すること

①各種研修会への参加

北海道商工会連合会が主催する職種別等の研修会への参加でき、資質向上に努めた。

②経営指導員会議による情報交換

2ヵ月に1回程度指導員会議を開催し、経営支援情報や研修内容の情報共有化を図れた。

③専門家の支援ノウハウ習得

小規模事業者各々の経営課題解決に向け、課題に応じた専門家を派遣し支援強化が図られた。

個別講習会（商工会予算）による専門家派遣 → 19事業者 開催延べ回数20回

事業環境変化対応型相談窓口による専門家派遣 → 2事業所 開催延べ回数7回

むらおこし事業による専門家派遣 → 1事業所 開催延べ回数3回

よろず支援拠点による専門家派遣 → 2事業所 開催延べ回数2回

3.事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①評価委員会による評価の実施

年度評価、中間報告は、あさひかわ商工会で資料説明を行い、評価委員会から改善点等意見を頂いた。

令和6年5月29日（年度評価）、令和6年11月1日（中間報告）

②事業の報告 事業の評価や見直し案について三役会や理事会で報告いたしました。また総代会へ報告し承認を受けました。

③事業の公表 事業の評価や見直し結果をあさひかわ商工会のホームページで公表しました。

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	中川委員→指導員間の連携は出来ていますか？→定期的に指導員会議を開催し、指導カルテによる情報共有を図り、対応しています。継続的に実施していきます。 ※自己評価を提示して、委員会の方に評価を頂くように、次年度対応する。